

島根原子力発電所第2号機 審査資料	
資料番号	NS2-添1-014-01
提出年月日	2022年7月21日

島根原子力発電所第2号機 工事計画審査資料

放射性廃棄物の廃棄施設のうち

気体、液体又は固体廃棄物処理設備

(気体廃棄物処理系)

(添付書類)

2022年7月

中国電力株式会社

VI-1 説明書

VI-1-1 各発電用原子炉施設に共通の説明書

VI-1-1-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書

VI-1-1-5-5 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（放射性廃棄物の廃棄施設）

VI-6 図面

6.1 気体，液体又は固体廃棄物処理設備

6.1.1 排気筒

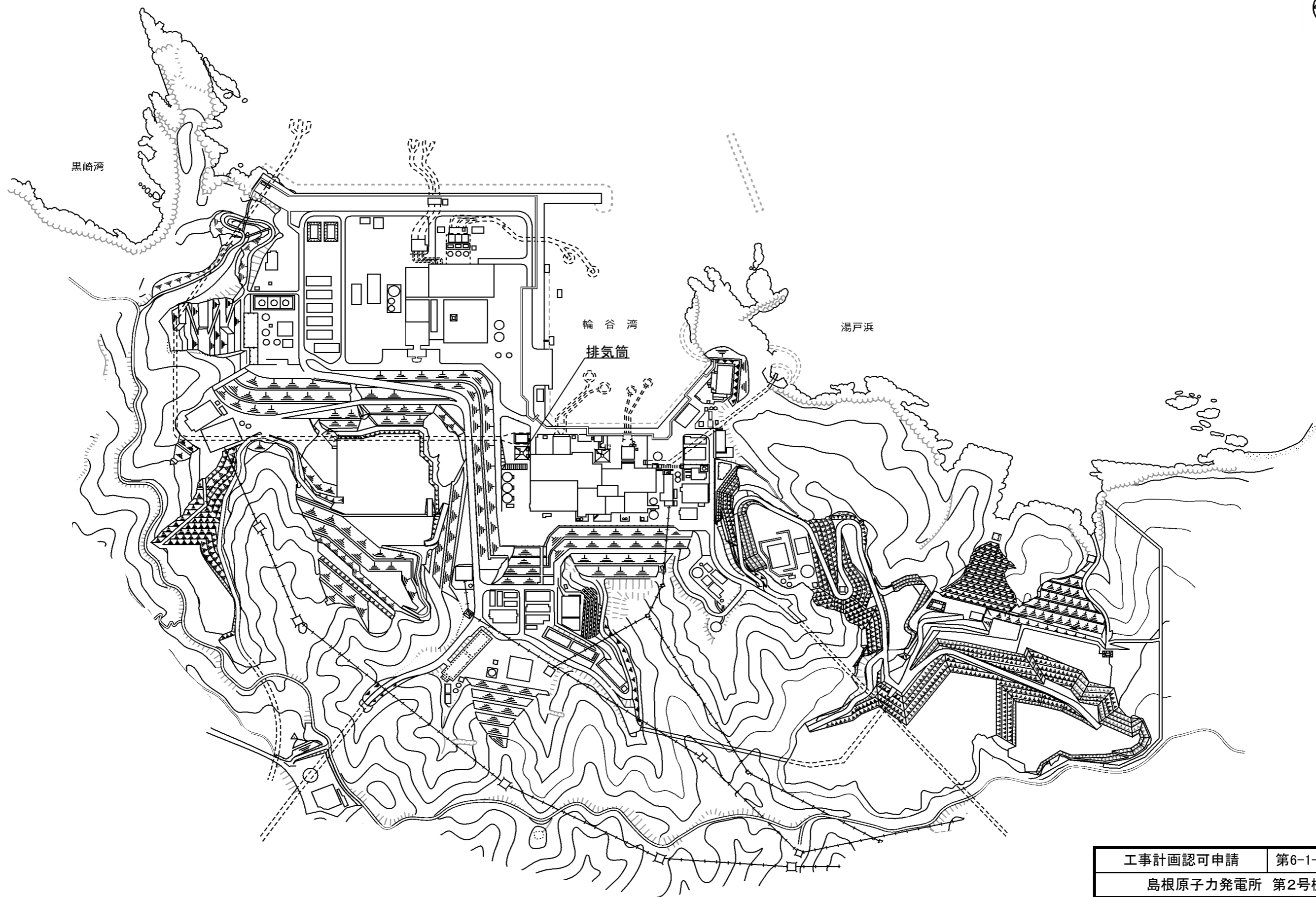
- ・第6-1-1-1-1図 排気筒の設置場所を明示した図面
- ・第6-1-1-2-1図 排気筒構造図
- ・排気筒の基礎の状況を明示した図面

【平成25年5月30日付け電耐建第5号及び平成25年6月14日付け電耐建第6号にて届出した工事計画の添付書類「第1-3図 排気筒の基礎の状況を明示した図面」による。】

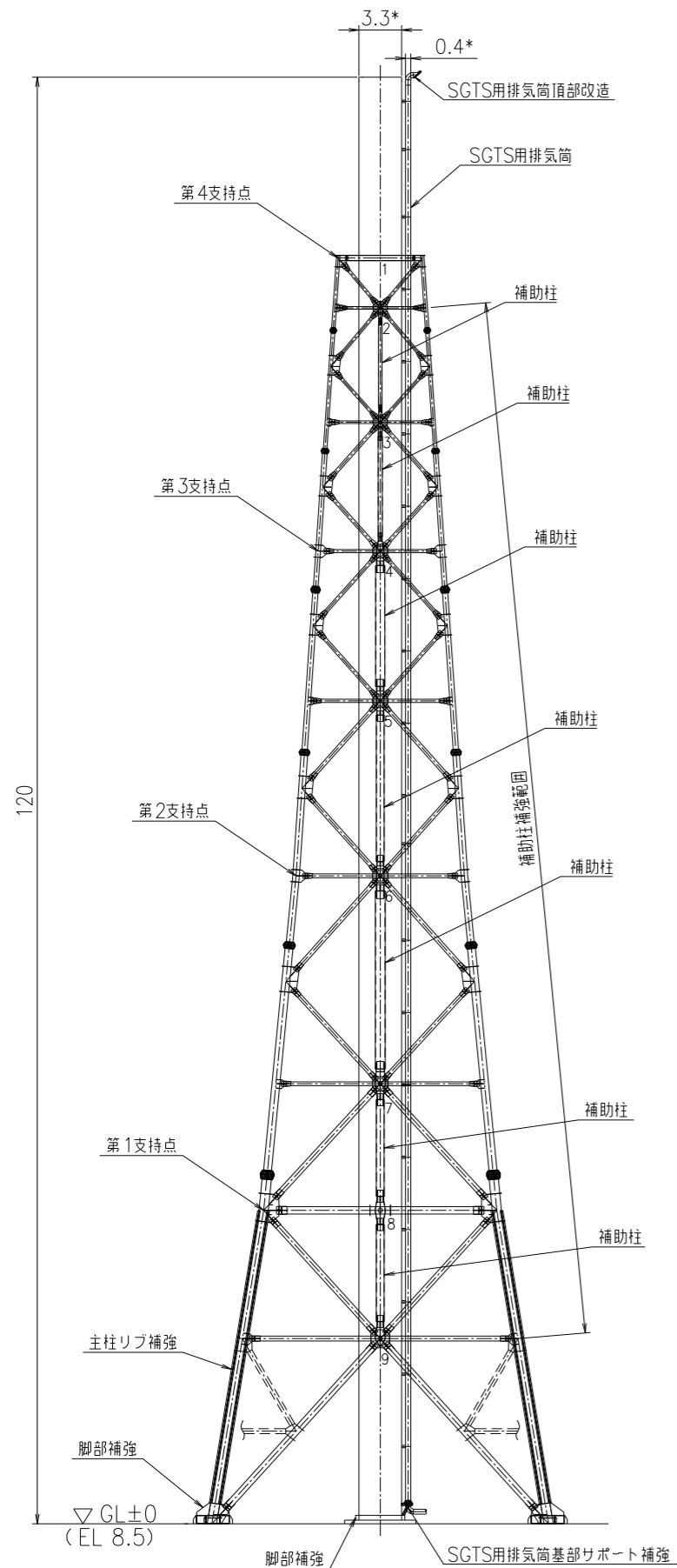
2. 気体，液体又は固体廃棄物処理設備

2.1 排気筒

名	称	排気筒
個 数	—	空調換気系用：1，非常用ガス処理系用：1
<p>【設 定 根 拠】 (概 要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計基準対象施設 排気筒は，設計基準対象施設として非常用ガス処理系，空調換気系及び気体廃棄物処理系からの排気を大気に放出するために設置する。 ・重大事故等対処設備 重大事故等時に原子炉格納施設のうちその他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）として使用する排気筒（非常用ガス処理系用）は以下の機能を有する。 <p>排気筒（非常用ガス処理系用）は，炉心の著しい損傷が発生した場合においても運転員が原子炉制御室にとどまるために設置する。</p> <p>系統構成は，非常用ガス処理系排風機によって原子炉建物原子炉棟（二次格納施設）内を負圧に保ちながら，原子炉格納容器等から漏えいした放射性物質を非常用ガス処理系前置ガス処理装置フィルタ及び非常用ガス処理系後置ガス処理装置フィルタを通して，排気筒（非常用ガス処理系用）から放出できる設計とする。</p> <p>1. 個数の設定根拠</p> <p>排気筒は，設計基準対象施設として非常用ガス処理系，空調換気系及び気体廃棄物処理系からの排気を大気に放出するために必要な個数である排気筒（非常用ガス処理系用）及び排気筒（空調換気系用）それぞれ1個ずつ設置する。</p> <p>排気筒（非常用ガス処理系用）は，設計基準対象施設として1個設置しているものを重大事故等対処設備として使用する。</p>		



工事計画認可申請	第6-1-1-1-1図
島根原子力発電所 第2号機	
名称	排気筒の設置場所を明示した図面
中国電力株式会社	

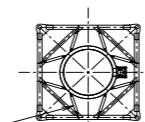


構造一般図

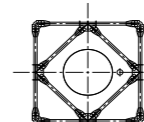


筒身頂部

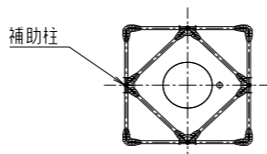
制震装置(粘性ダンパ)



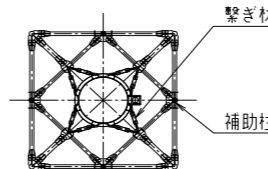
第1平面(第4支持点)



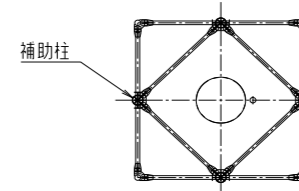
第2平面



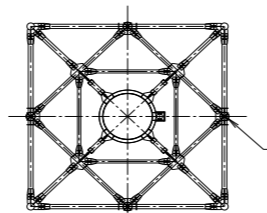
第3平面



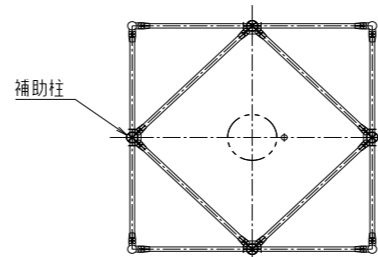
第4平面(第3支持点)



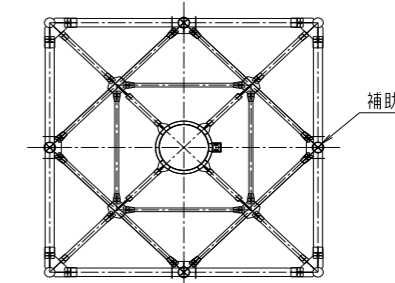
第5平面



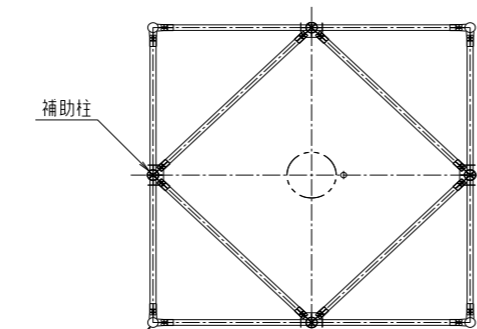
第6平面(第2支持点)



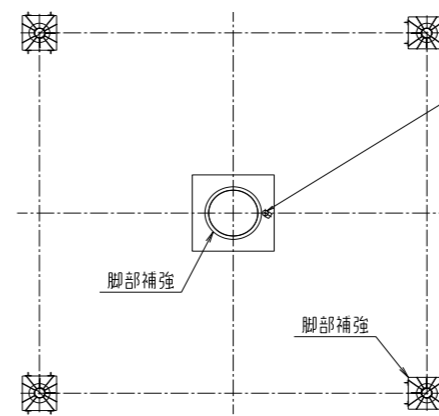
第7平面



第8平面(第1支持点)



第9平面



脚部平面

平面図

注1: 寸法はmを示す。
 注2: 特記なき寸法は公称値を示す。
 注3: 「EL」は東京湾平均海面(T.P.)を基準としたレベルを示す。
 注記*: 内径を示す。

工事計画認可申請		第6-1-1-2-1図
島根原子力発電所 第2号機		
名称	排気筒構造図	
中国電力株式会社		